

本場・北部市場

入荷から出荷までの流れ



入荷

せりの前の日から
当日の明け方にかけて

卸売業者は日本各地や海外から

たくさんの品物を集めます。

集められた品物は卸売場に並べられます。



下見

せりのはじまるまでに

仲卸業者や売買参加者は、並べられた

品物を見て、品質・鮮度などを確かめ、

何をどのくらいの値段で買うかを決めます。



せり・相対

【魚のせり】朝4時から

【野菜・果物のせり】

本場…朝6時から

北部市場…朝6時30分から

卸売業者から仲卸業者、売買参加者に

「せり」や「相対」という方法で

販売されます。



買出人に販売

小売店やスーパーなどに
午前中

仲卸業者は、買った品物を、市場の中にある

お店に運んで並べます。買出しにきた小売店や

スーパーなどの人たちは、ここで品物を買います。



教えて！

下見

下見は、なぜ必要なのですか？

生鮮食料品は、工業製品と違って、畑や海、牧場など、「自然」のなかで育つため、一つ一つ形・大きさや品質が違います。また、時間が経てば鮮度が失われていきます。だから、何をどのくらいの値段で買うかを決めるためには、実物を見て品質や鮮度などを確かめる必要があります。



「せり」や「相対」とはどんな方法ですか？

「せり」とは買う人（仲卸業者や売買参加者）が競争して値段をつける方法です。一番高い値段をつけた人が買うことができます。「相対」とは、売る人（卸売業者）と買う人とが相談して値段・数量などを決める方法です。



教えて！

せり・相対